

授業科目	子育て支援				単位	1		
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21317J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP3-2 DP4-1 DP5-3			
担当教員	菅原 航平							
授業概要	子育てに関する相談援助の意義や理論を理解し、保育士の専門性を活かした子育て支援の実践的な方法と技術を習得するため、グループワークなどの演習を中心にして具体的に学んでいく。							
学生が達成すべき行動目標	1.保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に説明できる。 2.保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例などを通して具体的に理解し、実践することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	15	25	10	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)		10	15		15	5	45	
態度(DP4-1)			5	5	5	10	25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)		5	5	5	10	5	30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
保育士の行う保護者に対する支援の特性と展開について、保育士の専門性と関連付けながら例示することができる。また、様々な場や対象に即した子育て支援の内容と方法及び技術を活用した実践を構想することができる。				保育士の行う保護者に対する支援の特性と展開について説明することができる。また、一般的な子育て支援の内容と方法及び技術について説明できる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	子育て支援で学ぶこと、学び方			講義 演習(グループワーク)		予習:「子ども家庭福祉」や「保育原理」の学習内容について復習をしておく		30

	子育て支援とは何かやそこでの保育者の専門性について理解して、授業の概要や到達目標を説明することができるようになることを目指す。		復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	
2	子どもの保育とともに行う保護者の支援 子育て支援の歴史や保護者の力を引き出す方法について学び、保育士の行う子育て支援の特徴について説明できるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
3	日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成 保護者の保育への参加や保護者と保育者が相互理解を深めるための方法を学び、保護者との相互理解を図る方法について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
4	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 事例から保護者の気持ちや支援ニーズに気づくための要点を学び、支援ニーズに気づくための要点について説明できるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク・ロールプレイ)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
5	子ども及び保護者の状況・状態の把握(アセスメント) ジェノグラムやエコマップを用いるなど子どもや保護者の状況を整理する方法を学び、子ども家庭のアセスメント方法について説明できることを目指す。	講義 演習(グループワーク・ロールプレイ)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
6	支援の計画と環境の構成 支援の計画の作成の流れやニーズ、目標、支援方法など計画に必要な項目を学び、支援の計画に含む必要のある事項について説明できるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
7	支援の実践・記録・評価・カンファレンス 支援についての多面的な評価の必要性や実践、評価に役立つ記録の取り方について学び、支援の評価について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
8	職員間の連携・協働 保育実習の際の職員間の連携・協働の具体的な場面・方法について振り返り、職員会議(カンファレンス)の重要性について学び、子育て支援で求められる職員間の連携・協働について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
9	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 社会資源や関係(専門)機関との連携について学び、子育て支援の際に活用できる社会資源について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
10	保育所等における支援 保育所に通っている子ども・家庭への支援について、事例をもとにニーズや支援方法について学び、保育所に通っている子ども家庭への支援について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
11	地域の子育て家庭に対する支援と多様な他者に関わる機会や場の提供 地域の子育て家庭に対する支援や保護者や子どもが多様な他者に関わる機会や場の提供について学び、	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60

	地域の子育て家庭に対する支援について説明することができる。			
12	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 特別な配慮を要する子ども家庭や家庭環境・養育態度が子どもへに与える影響と保育者・園として配慮する必要のあることについて学び、特別な配慮を要する子ども家庭に対する支援について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
13	虐待の予防と要保護児童等の家庭に対する支援 虐待の予防とハイリスク家庭への支援や・親子関係を構築・再構築するための支援について学び、虐待の予防について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
14	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 貧困家庭、外国にルーツをもつ家庭、家族の疾患、不適切な養育など様々な支援ニーズに対する担任保育者としての支援について学び、子育て家庭の多様な支援ニーズをについて説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:テキストの該当箇所を読み、分からなかった単語について調べる 復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
15	まとめ 保育所保育指針(幼保連携型認定こども園教育・保育要領)における子育て支援や保育者の専門性と保育所(認定こども園)の役割についてまとめ、保育者が行う子育て支援の内容と方法の要点について説明することができるようになることを目指す。	講義 演習(グループワーク)	予習:これまでのワークシートやノートなどを全体の見直しをする 復習:復習:授業内容や気になった部分の学習・資料整理	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	子ども家庭福祉や保育原理で学んだ子育て支援の内容、社会福祉で学んだ相談援助に関して復習しておくとともに、子ども家庭支援論や保育実習Ⅱ・Ⅲなど同時期に開講されている科目と関連付けながら学ぶことが望ましい。
テキスト	西村重稀、青井夕貴(編)『新・基本保育シリーズ 19 子育て支援』中央法規 あわせて、LMS に資料をアップロード(または、プリントを授業の時に配布)します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	保育所保育指針・解説 (平成29年3月告示 厚生労働省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説 (平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省) 他、必要に応じて授業内で紹介します。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	時間外学習については、テキストや配布資料等を参考にして各自積極的に取り組んで下さい。 学習相談については、授業開始前やメールなどで受け付けます。学習成果のフィードバックについては、提出課題などは授業内で返却し、成果や課題について授業内で取り上げてコメントします。 保育実習等の際にも子育て支援の視点を大切にしながら理解を深めていって下さい。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	小テストについては、受験の有無などによって評価する。 レポート課題については、指定されたテーマに沿っているか、適切な分量となっているか、しっかりと考察されているか、正しい日本語の文章となっているか、提出期限が守られたかなどによって評価する。 発表等については、発表の準備(発表資料)・プレゼンテーションの仕方、挙手や指名での発言、グループワークでの発言の回数や内容などによって評価する。 レポート外の提出物(授業内の課題、毎回提出の感想・質問等、予習課題等)については、適切な分量(文字数)となっているか、学習内容を踏まえて自分なりの考えを記述しているかなどによって評価する。 その他、授業中への参加態度(積極的発言、指示への適切な応答、私語、居眠り、携帯電話の目的外の使用)、グループワークでのグループに対する貢献、その他などによって評価する。